

令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

港湾振興課

1 施設の概要等

施設名	福山地域マリーナ施設		
所在地	福山市新涯町2丁目23-1等2地区		
設置目的	プレジャーボートの適正な係留保管の促進		
施設・設備	山根木材ボートパーク福山(以下「BP福山」という。)(海上艇置施設, 駐車場, トイレ) 柳津PBS(海上艇置施設, 駐車場)		
指定管理者	1期目	H28. 4. 1~R8. 3. 31	福山地域ボートパーク運営共同企業体
		H26. 4. 1~H28. 3. 31	ボートパーク福山: シダックス大新東ヒューマンサービス・ベルボート共同企業体 柳津プレジャーボートスポット: 備ひろしま港湾管理センター

2 施設利用状況

利用状況	年度	収容可能艇数	目標値 [事業計画]	艇置数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	1期	R3	493艇	423艇	427艇	14艇
R2		493艇	411艇	413艇	6艇	2艇 (100.5%)
R1		493艇	411艇	407艇	13艇	△4艇 (99.0%)
H30		493艇	421艇	394艇	△18艇	△27艇 (93.6%)
H29		493艇	421艇	412艇	13艇	△9艇 (97.9%)
H28		493艇	409艇	399艇	13艇	△10艇 (97.6%)
H26~H27平均)※		493艇	302艇	386艇	—	84艇 (127.8%)
(導入前)	—	—	—	—	—	
増減理由	○コロナ禍でマリネレジャーが活発となり, 新たに船を購入し係留する方が増加 ○業者等による紹介, 雑誌等の宣伝により, 継続的に新規利用者を獲得できる体制が構築できた					

※平成26~27年度の平均は, ボートパーク福山と広島港及び尾道糸崎港における小型船舶特定係留施設に含まれていた当該施設の一部である柳津プレジャーボートスポットに係るものを合算したものである。

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者意見箱の設置	利用者全員・8名
	1日2回以上の桟橋巡回	利用者全員・105名
	ホームページ質問欄	利用者全員及び一般市民・7名
	【主な意見】	【その対応状況】
	PCRセンターによって, 道路が渋滞し, 交通事故の危険性がある。(ボートパーク福山) 外波の侵入で, 船舶やロープが損傷を受けているため, 防波堤を延伸してほしい。(ボートパーク福山)	PCRセンター設置者に警備員の配置場所及び誘導方法を見直す等の対応を依頼した。 令和4年度に県が防波堤延伸の設計予定。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 入艇状況報告等
	日報 (必要随時)	○ 日報の中の主要な苦情, 要望等について随時報告
管理運営会議 (随時)	【特記事項等】 現地調査を実施した。 【指定管理者の意見】 事業実施計画に基づき適切に実施した。	
現地調査	【県の対応】 適切に管理運営が実施されていることを確認した。	

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減	
	県委託料 (決算額)	1期	R3	0		0	料金 収入 (決算額)	1期	R3	55,893
R2			0	0	R2	54,140			1,516	
R1			0	0	R1	52,624			465	
H30			0	0	H30	52,159			60	
H29			0	0	H29	52,099			488	
H28			0	△30,125	H28	51,611			51,611	
H26～H27 (平均)※		30,125	—	H26～H27 (平均)※		該当なし				
(導入前)		—	—	(導入前)		—		—		

※ 平成26～27年度の平均は、ボートパーク福山と広島港及び尾道糸崎港における小型船舶特定係留施設に含まれていた当該施設の一部である柳津プレジャーボートスポットに係るものを合算したものである。

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R3 決算額	R2 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	0	0	0	
		料金収入(※1)	55,893	54,140	1,753	艇数増加
		その他収入	221	201	20	
		計(A)	56,114	54,341	1,773	
	支出	人件費	16,565	15,313	1,252	正社員の入退職、昇給
		光熱水費	719	678	41	
		設備等保守点検費	1,537	1,601	△64	
		清掃・警備費等	887	1,332	△445	防犯カメラ終了、再リース契約により費用減
		施設維持修繕費	1,126	501	625	経年劣化による設備補修工事の増加
		事務局費	13,184	13,188	△4	
その他		6,172	6,100	72		
計(B)	40,190	38,713	1,477			
収支①(A-B)		15,924	15,628	296		
自主事業 (※2)	収入(C)	940	836	104	利用者増による自販機・保険契約の増加	
	支出(D)	13	134	△121	新型コロナウイルス感染拡大による全行事の中止	
	収支②(C-D)	927	702	225		
合計収支(①+②)		16,851	16,330	521	(うち県への納付額15,200千円) (R3) ※3	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

※3 資本費相当額：県が負担した施設の整備費を収益から負担金として納付されている。

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	<p>主に高齢化で船を手放すという大きな流れが発生しているものの、コロナ禍でもマリンレジャーが活発な状況であり、新たに船を購入し係留する方が増加傾向という状況も継続している。</p> <p>ボートパーク福山は第2入退ゲート付近への駐車場設置, 防波堤の延伸, 柳津プレジャーボートスポットは港内への強い風波侵入防止, トイレまたは洗い場の設置, 港口周辺浅瀬の土砂除去など, 利用者からの要望は多く, 絶えることはないが, 安全に関わることを最優先とし, 広島県と協議し極力対応したい。</p> <p>海鳥による施設棧橋糞害への対応が想定以上の大きな作業量であるが, 施設の景観及び利用者満足度を維持するのに欠かせないため, 清掃作業に多くの時間を割いた。</p>	<p>コロナ禍でのマリンレジャーの活発化や施設のPR, 各種宣伝の効果により艇置数が増加した。</p> <p>多岐にわたる利用者からの要望等に対応するため, 県と連携して, 施設の安全性, 利便性の確保に努めている。</p>
	○業務の実施による, 県民サービスの向上		
	○業務の実施による, 施設の利用促進		
	○施設の維持管理		
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	<p>朝夕2回の棧橋巡回に十分な時間をかけることにより, 船舶係留状態のこまめな安全確認, 施設の不具合箇所や清掃の必要箇所の早期発見につながった。</p> <p>また, 利用者からの質問・要望に余裕をもって耳を傾けることができ顧客満足度も向上した。</p>	<p>施設の維持管理や, 利用者からの要望に応えるための組織体制が十分に整えられている。</p>
	○効率的な業務運営		
	○収支の適正		
総括		<p>令和3年度も大きな苦情もなく, 掲示物・郵送物・ホームページ等での情報発信と, 日々の巡回・挨拶・清掃活動により, 利用者や地域住民からの感謝を多くいただき, 信頼関係がより厚いものとなったことが大きな成果であった。引き続き信頼される地域に根差した施設として, 更なる顧客満足度向上を目標にしっかりと管理・運営を行っていききたい。</p>	<p>新たな利用者の獲得に向けて, 従来の広告宣伝の他, 地元船舶業者や釣り具店との連携を強化する等, 新たな取組を行っている。</p> <p>ネーミングライツ事業の導入のために, 県と指定管理者が連携して取り組んだ。</p>

## 8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和4年度)	<p>○入艇促進のため, 近隣の船舶業者や釣具店等との関係をより強固にするため, イベント等相互協力体制を密にしていきたい。</p> <p>○状況を考慮しつつ, 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した安全なイベントを開催できるよう計画し, 施設の認知度, 顧客満足度を向上させたい。また柳津プレジャーボートスポット利用者にもイベント参加を促していきたい。</p>	<p>アフターコロナを見据えて指定管理者が実施する施設のPRや利用者サービスの向上, 利用促進の取組について, 支援助言を行うとともに, 令和3年度より導入したネーミングライツ事業を活用して施設の充実に努める。</p>
中期的な対応	<p>○8m区画のうち特に外波の影響を強く受ける, L・M・N区画の空き区画が多い。利用予定者が状況を把握し利用を見送ることも多い。外波は船舶・係留ロープ・設備の消耗を早めたり, 損傷を与えたりするため, 防波堤延伸が必要である。(ボートパーク福山)</p> <p>○最終的に福山港内の放置艇を無くすためには, 9m区画にも収容できない大型艇の受入れについての検討も必要ではないか。</p>	<p>施設利用者の利便性の向上や大型艇への対応を視野に, 必要な修繕や更新等について, 指定管理者と連携して取り組む。</p>